

# Lost Coral ~美しいサンゴを守るために~

沖縄には、美しいエメラルドグリーンを形成しているサンゴ礁があり  
本島の中でも、大度海岸は多くのサンゴや生物、イノーが見られる

サンゴ礁は、美しい海を形成し自然の防波堤となる  
そこに生まれる多様な生態系は、長年私達の暮らしを支え、癒しを与えてくれた

しかしながら、そのサンゴが  
地球温暖化や気候変動、農地、住宅の開発等の  
人間の活動によって失われている。。。

この事実を多くの人々に伝え、サンゴについて学び  
サンゴを守るために私達にできることは何か

この地に訪れた人々が  
そのことを知るきっかけになるために  
“サンゴに支えられている私達”をコンセプトに  
大度海岸の豊かな自然環境の場にふさわしい休憩所・トイレを提案する



## 大度海岸の魅力

沖縄戦跡国立公園内にある大度海岸は、別名「ジョン万次郎ビーチ」としてジョン万次郎の記念碑が設置され、周辺には平和祈念公園や平和の塔など沖縄の歴史について学べる地域である。また、本島内でも豊かなサンゴ礁の海が広がりダイビングやシュノーケリング及びイノー観察を楽しめる場として人気である。様々な魅力がある中で、人々が自然を体感しながら多様な生物について学ぶことが大度海岸の最大の魅力だと感じ、“美しいサンゴ”と“守るべきサンゴ”について人々に伝える場として活用する。また、訪れる人に海の景色を楽しめる・心地が良い空間を提案する。

## プログラム

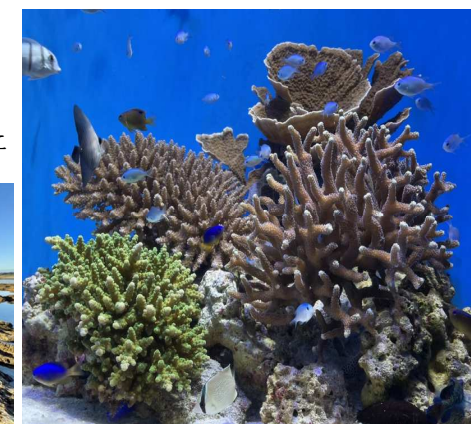
### ■トイレ・休憩所

大度海岸に生息する“ミドリイシ”をモチーフに柱と屋根をサンゴの力強く伸びる骨格に見立て、その骨格と屋根で身を守られているようなイメージに休憩所・トイレを配し“支えられている私達”を表現した

### ■休憩所のベンチ配置

「イノーの魚達を思い浮かべながら、  
遠く海を望む」

大小様々な大度海岸に広がるイノーをイメージし、イノーを形成している周辺の岩を琉球石灰岩で再現した。今後、石灰岩の劣化でよりイノーのイメージに近づく。



干潮時の大度海岸の様子。大小様々なイノーがありサンゴや多様な魚が見られる

## 初期スケッチ

公衆トイレ



柱と屋根に  
身を守られているようなイメージ



休憩所

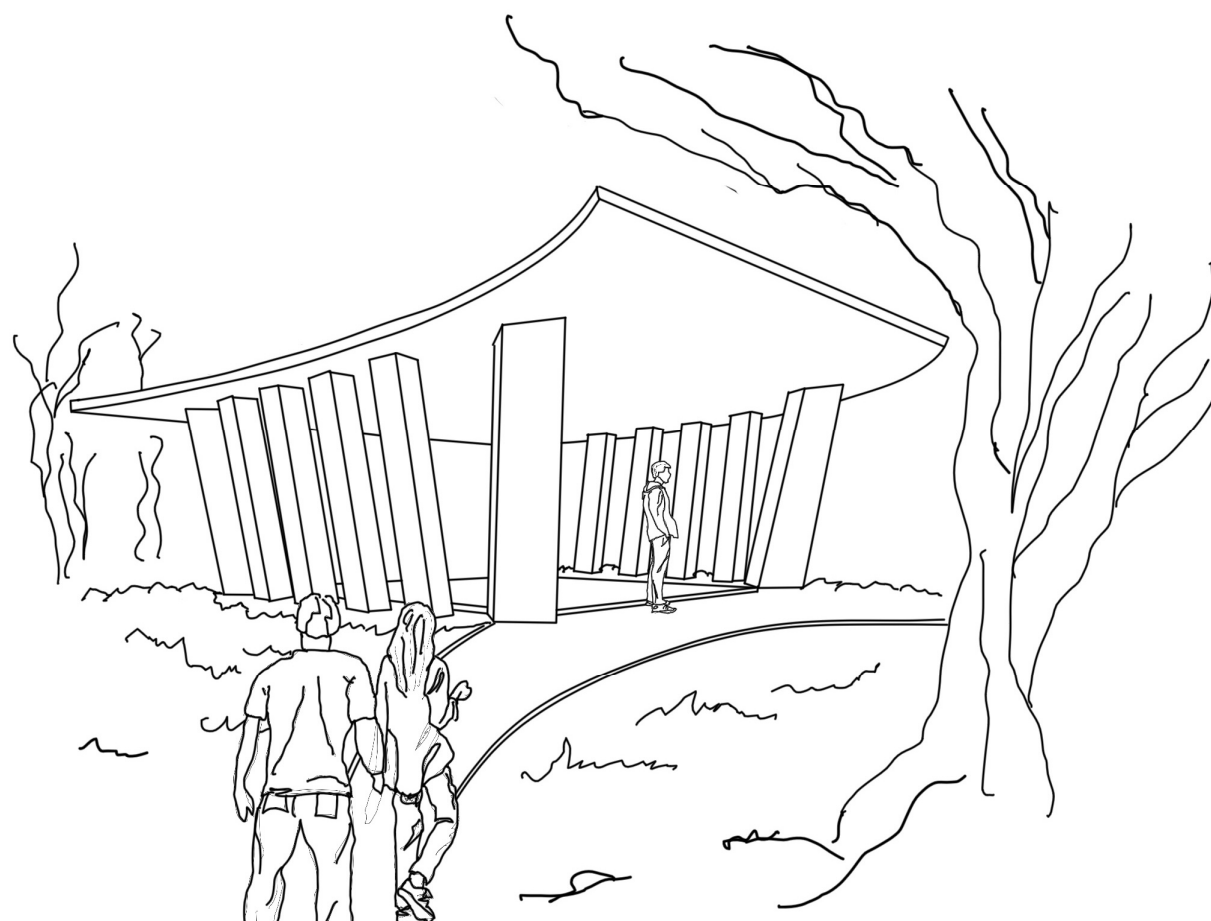


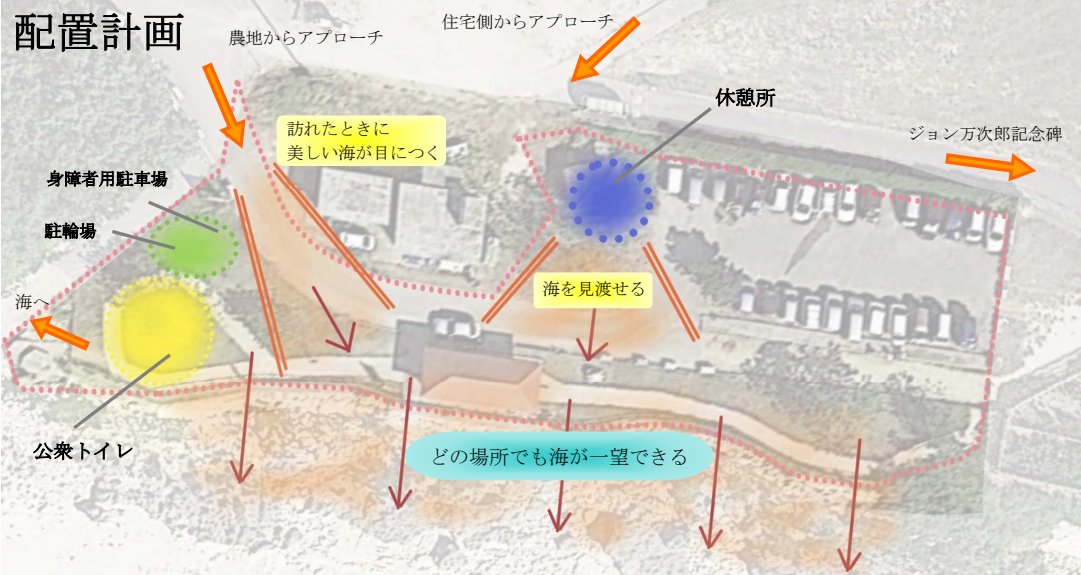
柱と屋根が力強く伸びるイメージ

イノーの流れや水の流れをイメージ



自然とサンゴに囲まれながら、海を眺めるイメージ





■景観に配慮

・海が一望でき、農地側アプローチから訪れた時に海が見渡せるよう配置した

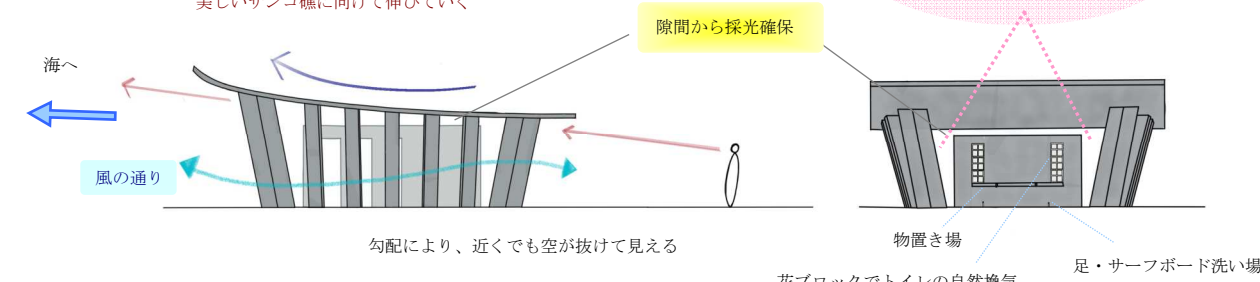
■利用者に配慮

- ・海から帰る人達が、すぐに足やサーフボードを洗い流せる
- ・敷地は北側に向かって勾配があるため、南側に身障者用駐車場を配することで車椅子の方でも、海岸沿いを楽に利用できる
- ・休憩所は住宅側からアクセスしやすく、既存の木の影と共に心地よい空間となる

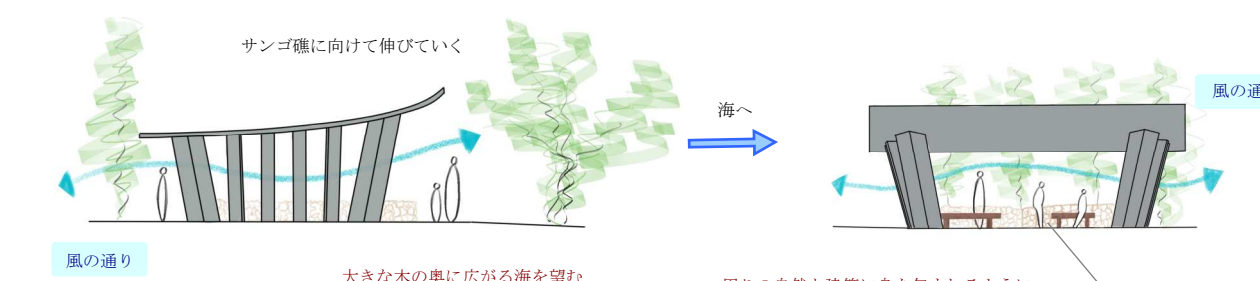
立面図

公衆トイレ

ゆるやかなカーブは美しいサンゴ礁に向けて伸びていく

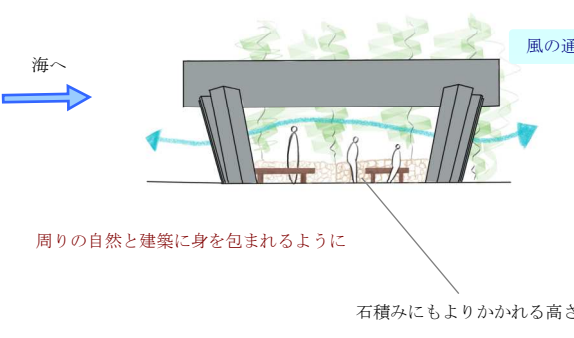


休憩所



Coral road

"美しいサンゴ" "守るべきサンゴ" について学べるパネルを設置



**建築概要**

- 階数 : 平屋建て
- 構造 : 鉄筋コンクリート造
- 延べ面積
  - 公衆トイレ : 20㎡
  - 多目的トイレ : 4㎡
  - 男子トイレ : 8㎡
  - 女子トイレ : 8㎡
  - Coral road : 18㎡ (トイレ周辺・洗い場含む)
  - 休憩所 : 33.5㎡
- 仕上げ
  - 壁・屋根 : RC 打ち放し仕上げ (+耐久性に優れた塗装を採用します)
  - 床 : 白い砂浜をイメージし、建築と馴染む色のタイルを使用します

